

令和8年度 小城市立晴田小学校 グランドデザイン

児童数	283名	学級数	10学級（通常） 9学級（特支）	職員数	42名
-----	------	-----	------------------	-----	-----

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 佐賀県教育基本方針
- 小城市学校教育の基本方針
- 新学習指導要領
- 令和の日本型教育

【 学校教育目標 】
心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成
—つながりあおう！ 地域に根ざそう！—

- 地域密着型の学校づくり
- ・地域と連携した学校教育活動
 - ・地域行事への参加奨励
 - ・地域の一員としての意識
 - ・幼保小中連携

晴田っ子の合言葉「聴くは思いやり、言葉はおくりもの」
 「私もあなたも特別な only one! 大事にしよう命と心！」

【行動化の指針】 ~今、私にできること~ ~気づき、考え、行動する~ 「あいさつ」「靴(スリッパ)そろえ」「掃除」

【めざす学校像】
今日が楽しく、明日が待ち遠しく思える学校に

- あいさつの言葉が響く、笑顔あふれる学校
- 安全・安心な学校
- 子どもたちが生き生きと学び伸びていく学校
- 美しい学校
- 地域とともに歩む学校

【めざす子ども像】
たくましさとしなやかさをもつ子どもに

- いのちあるものを大切にし、思いやりのある子ども
- 健康や安全に気をつけ、元気に活動できる子ども
- 進んで学び、基礎基本や活用力を身につけた子ども
- ふるさと晴田で生き生きと活動する子ども

【めざす教師像】
熱意・創意・誠意をもつ教師集団に 専門性・人間性・戦略性をもつ教師に

- 『ONE TEAM』～職員はひとつ！～合言葉に、常に組織で協働する教職員
- 人権感覚を身につけ、自他を大切にす教職員
- 自ら研鑽し指導力・職務能力向上に励む教職員
- Work Life Balanceを意識した働き方ができる教職員

【 学校教育の重点目標 】
自他とつながり合い自分や友達を大切に行動できる 児童を育成するために、「自己有用感」を育む
【全体指標】 自分は人の役に立つことができていると思う児童 …85%以上

- I 児童の「自己有用感」の向上を軸にした教育活動を展開する！**
- 人権教育、特別支援教育、心の教育、教育相談等では、常に「自己有用感」または「自尊感情」の向上を意識しながら取組を展開する。
 - 授業・特別活動(係・委員会、学校・学年行事)では、「出番」「役割」があり「承認」される取組を創造し、児童の「自己有用感」を高めていく。
 - 校内研究では、学習内容理解と人間関係の高まりを同時に図る「多様なインプット・アウトプット場面を仕組んだ授業」の工夫について追究し、できる喜び・分かる楽しさを感じる子どもを育成していく。
- II 「人権教育」は、本校教育の基盤であり続ける！**
- 長年の「人権教育」への取組、人権尊重を基盤とした取り組みの積み重ねを継承し発展させる。
 - 合言葉「聴くは思いやり 言葉はおくりもの」は、本校の宝である。
- III 地域の教育力を生かす！地域の一員であるとの意識を育てる！【学校運営協議会】**
- 育友会、青少健、区長会、幼稚園等地域の教育力を、学校の教育活動に明確に位置づけ生かす。
 - 「地域の一員である」との児童の意識を育てることで、地域との双方向の関係作りを図る。
 - 学校運営協議会の強みを活かし、互恵性と持続可能性のある、地域と共にある学校づくりを目指す。
- IV 「ONE TEAM」 ~職員もひとつ~ 職員みんなが伸びる！**
- 特別支援学級を含めた学年チーム制で、学年内、管理職との密な「報告・連絡・相談」により、一体感のある職員体制を構築する。
 - 向上心やノウハウの若手職員へのアウトプットを心がけることで、相互に伸びる職員をめざす。

4つの部と特別支援教育部による教育活動推進				
安心安全部 (5)	保体部 (5)	特別活動部 (4)	学習部 (5)	特別支援教育部 (4)
教育目標達成のための重点取り組み				